

日本珐瑯工業会創立 50 周年に寄せて

タカラスタンダード株式会社

日本珐瑯工業会が創立 50 周年という大きな節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。半世紀にわたり、珐瑯産業の発展と技術振興、品質向上に尽力されてこられた関係者の皆さま、ならびに会員各社の皆さまに深く敬意を表します。

当社は 1912 年に日本エナメル株式会社として創業し、以来 110 年以上にわたり珐瑯とともに歩んでまいりました。創業当初は珐瑯鉄器の製造から始まり、その後、時代の変化と暮らしのニーズに応えながら住宅設備分野へと事業を広げてまいりました。1962 年には世界初のホーローキッチンを開発し、現在ではキッチン、浴室、洗面化粧台、内装材など、暮らしに身近なさまざまな製品に珐瑯技術を活かしています。



1912 年創業当時の様子



ホーロー製造焼成ライン

私たちの原点は、「より快適できれいな暮らしに貢献する」ことです。この思いのもと、当社は「Living Standard（住生活水準）」「Ethical Standard（倫理規範）」「Quality Standard（品質基準）」という 3 つの“Standard”を企業理念として掲げています。さらに、長期ビジョンとして「ホーローと共に、光り輝く魅力ある企業へ」を定め、珐瑯の持つ可能性を広げながら、社会に新たな価値を届けることを目指しています。

珐瑯は、金属の強さとガラスの美しさを併せ持つ、非常に優れた素材です。耐久性、耐熱性、耐水性に優れ、汚れや湿気にも強く、長期間にわたって性能と美観を保つことができます。こうした特長は、住まいに求められる清潔さ、使いやすさ、安心感にしっかりと応えるものであり、長く大切に使い続けられる素材として、持続可能な社会づくりにも貢献できると考えています。

また、珐瑯は伝統ある素材でありながら、今なお進化を続けています。意匠表現や加飾技術の高度化に加え、新たな用途の開発や機能性の向上など、技術革新の可能性はさらに広がっています。当社も、これまで培ってきた技術と知見を礎に、暮らしの質を高める製品づくりに取り組み、珐瑯の魅力と価値を次世代へとつないでまいります。



ホーローシステムキッチン『レミュー』

本節目は、先人の技術と信頼の積み重ねの結実です。業界の一員として、工業会・会員各社と連携し、さらなる技術発展と市場拡大に貢献するとともに、皆さまのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。